

第29号
2025年11月

SHION

目次

01.

ご挨拶

02.
03.

福岡志恩病院で活躍する診療放射線技師のお仕事紹介

04.
05.

第10回院内研究発表会開催報告

06.

外来診察担当医師ご案内
編集後記

～ご挨拶～

福岡志恩病院 放射線部 部長 井上 明彦

いのうえ あきひこ



広報誌を手にとっていただき、ありがとうございます。2011年12月に入職し、14年目を迎えました。2025年3月より放射線部の部長に就任させていただきましたので、この場をお借りしご挨拶申し上げます。

さて、『放射線』と聞いて皆さまはどのようなイメージをお持ちでしょうか。多くの方は、放射線は危険、怖い、不安といったマイナスのイメージがあると思います。もちろん使い方を間違えると、体にとって悪い影響が出るのは確かです。しかし、きちんと管理し適切な使い方をすれば、とても便利なものになります。検査を受けることが皆さまのプラスになるようにしっかり管理し検査を行っていきます。

放射線部は皆さまと接する時間は長くはありませんが、検査前後の限られた時間の中で、皆さまの不安を少しでも取り除けるような声掛けや説明を心がけ、そして、皆さまが『志恩病院なら検査を受けてもいいかな』と思える放射線部を目指して、日々努力して参りますので、これからもどうぞよろしくお願いします。

福岡志恩病院で活躍する診療放射線技師のお仕事紹介



診療放射線技師は医師の指示に基づいて、放射線を用いて病気の診断や治療をサポートする専門職です。福岡志恩病院のような整形外科では特に骨や関節の状態を詳しく調べるためにX線(レントゲン)やCT、MRIなどの検査が非常に重要な役割となります。では、診療放射線技師はどのような仕事をしているのでしょうか？

一般撮影(レントゲン)検査

最も一般的な検査でX線を目的の部位に照射し、骨折や関節の形、脱臼の有無を調べることができます。X線画像は、空気などのX線が通過しやすい部分は黒く、骨などのX線が通過しにくい部分は白く写し出されます。撮影部位によって、息止めや身体の向きを変えながら撮影を行います。

技師から一言

患者さんとのコミュニケーションを大切に、痛みを考慮しながらできるだけ負担の少ない姿勢で撮影することを心がけています。



CT(コンピューター断層)検査

大きな円筒型の機械に寝台ごと入り、X線を用いて撮影し、コンピュータで処理することで身体の断層画像や骨や靭帯などの3D画像が得られます。身体の内部を様々な角度から見るができるため、一般撮影ではわからない骨折の細かいずれや手術前の評価にも役立ちます。

技師から一言

CT検査の強みは、短時間で高精細な画像を提供することができます。最適な撮影条件を整え、診断に役立つ画像を撮ることを意識しています。

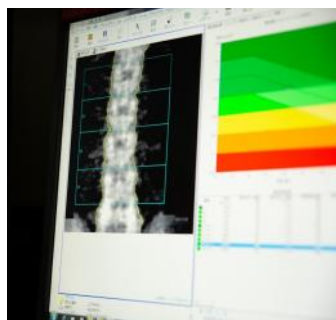


骨塩定量測定(骨密度測定)検査

骨密度検査は数分間仰向けに寝てもらいます。微量なX線を用いて、腰椎や大腿骨近位(頸部)の骨の密度(骨の強さ)を測定する検査です。骨粗鬆症の診断や骨折のリスク評価に使用されます。

技師から一言

検査中に動いてしまうと再撮影になる場合があるので、できるだけ動かないようにご協力ください。痛みはなく、身体への負担もほとんどありませんのでご安心ください。



MRI(磁気共鳴画像)検査

強力な磁力と電波を用いて、筋肉・靭帯・神経などの「軟部組織」を詳しく撮影します。放射線を使用しないため被ばくの心配はありません。強い磁場が発生しているため金属類の持ち込みはできませんのでご注意ください。

技師から一言

狭い空間や検査時間の長さにより不安を感じる患者さんも多いため、リラックスできるような声掛けを心がけています。検査中は大きな音がしますが、機械が正常に動いている音ですのでご安心ください。



透視検査（X線TV）

X線を用いて体内の様子をリアルタイムで観察しながら撮影、診断、治療を行います。また、ブロック注射での確な場所に打つために位置を確認するために使用します。骨折や脱臼の整復処置を行う「透視下処置」など、多目的に検査・処置を行っています。

技師から一言

検査台に乗って検査を行います。転落防止のため、いきなり起き上がったり、激しく身体を動かしたりしないようご協力をお願いします。



超音波検査（エコー検査）

高い周波数の音波（超音波）を使って、体内の病変を調べることができます。また、X線では映らない「軟部組織」の異常を確認することができます。そのため、肩や足などの腱・靭帯損傷の評価を行うことが可能です。

技師から一言

被ばくがなく、痛みも伴わないため患者さんの身体に負担をかけずに検査ができます。



～検査に関するお願い～

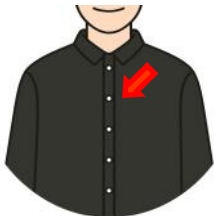
検査の際は、金属のない服装で来院するか、検査着への着替えをご案内することがあります。また、外したアクセサリー類は紛失を防ぐためにも小物入れやロッカーに保管してください。



服装に関するお願い

X線検査では検査部位にある**金属**や**プラスチック**を取り外してください。

X線検査内容によって異なりますので、必要に応じて担当スタッフがご説明いたします。



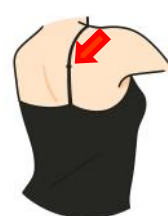
ボタン・襟



厚みのあるデザイン



チャック



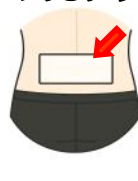
肩紐のアジャスター



ホック・ワイヤー



リプレゼンサー



湿布・カイロ



ネックレス



ポケットの中



装飾品



【放射線部からのメッセージ】

福岡志恩病院の診療放射線技師は、単に検査を行うだけでなく、「短時間で患者さんからの信頼を得て、安心して精度の高い検査を受けていただきたい」という気持ちを大切にしています。検査後のお礼のお言葉は私たちにとってやりがいと励みになっています。目立つ存在ではありませんが、医療現場にとってなくてはならない仕事です。これからも「縁の下の力持ち」と言われる存在になれるよう放射線部一同取り組んでいきます。



『第10回院内研究発表会』開催報告

2025年6月13日に第10回院内研究発表会が開催されました。コロナ禍の影響で中止していましたが、昨年より5年ぶりに開催を再開しました。この発表会は、当院の理念である『最先端の高度な医療を提供する』を実践するため、日々医療スタッフ部署単位、個人単位での知識・技術の向上を目標とし、職務に励んでいるスタッフのアウトプットの場として位置づけられています。発表会の参加を通じて、日常業務の中での疑問点・問題点を調査し、各々の自己研磨の場となっています。

第10回院内研究発表会は11演題の発表が行われました。

職員内では、別名『志恩学会』と呼ばれています。全職員参加型の研究発表会は、院外からの参加もあり、質疑応答も活発に熱気を帯びた会となりました。その中の一つの演題をご紹介します。



実施日 2025年6月13日（金）

発表者

外来・病棟・手術室看護師、放射線部、栄養科、医事管理課、リハビリテーション部、医局

テーマ

調査:5演題 取り組み:3演題
研究:2演題 保険診療の解説:1演題

演題

外来看護師の接遇について ～患者アンケート調査からみえたこと～



背景(調査の理由)

外来は患者さんを最初に受け入れる場所であり、病院の印象をきめる大切な役割を担っています。患者さんは病気や治療に対する不安を抱えて受診されることが多いです。また、現在は価値観やニーズが多様化しています。そのため、患者満足度向上には看護知識や技術だけでなく、接遇力も重要となります。そこで、患者さんが外来看護師の接遇に対してどのように感じているかアンケート調査を実施し、現状を明らかにしました。

対象と方法

715名の外来患者さんを対象に、外来看護師の接遇についてアンケート調査を実施し、以下の6項目について回答いただきました。

1. 笑顔で接することはできているか
2. 積極的に挨拶ができているか
3. 言葉遣いは丁寧か
4. 分かりやすく説明はできているか
5. 痛みや苦痛を理解しているか
6. 身だしなみはきちんとできているか



外来診療をよりよくするために、皆様からご意見を頂戴いたします。お手数ですがアンケート調査にご協力をお願いします。
アンケートは個人を特定することはありません。結果に不利益になることはありません。
下記の質問に答えていただきますようお願いいたします。

①笑顔	②挨拶	③言葉遣い	④説明	⑤痛みや苦痛	⑥身だしなみ
100% 50% 0% 90% 40% 50% 80% 30% 60% 100%	よく出来ている・出来ている・あまり出来ていない・出来ていない	よく出来ている・出来ている・あまり出来ていない・出来ていない	よく出来ている・出来ている・あまり出来ていない・出来ていない	よく出来ている・出来ている・あまり出来ていない・出来ていない	よく出来ている・出来ている・あまり出来ていない・出来ていない

ご協力ありがとうございます。
結果は最終的に院内で発表させていただきます。

実際に使用したアンケート用紙

結果

全ての項目において「よく出来ている+出来ている」の割合は96%を超え、概ね良好な満足度がえられていました。しかし「5.痛みや苦痛を理解しているか」においては、「あまり出来ていない+出来ていない」が2.5%と満足度の低い評価もありました。

考察(調査からの内容から考えられること)

患者さんの不安や苦痛が増す場面として初診時、症状悪化時、治療方針の選択時などがあります。このような時に不安や痛み、苦痛に寄り添い、傾聴や共感し、より密にコミュニケーションを図ることで患者さんと信頼関係を構築することができ、ひとりひとりに合った安全で効率的な医療の提供が出来るのではないかと考えます。また、多職種とも患者さんについて情報共有を行うことで、より個別性やニーズに応じ対応ができると考えます。看護師の専門的な知識向上により、患者さんの不安軽減に繋がると考えます。今後も看護知識、技術の向上と医療接遇の向上に努めていきたいと思えます。

患者さんの声～アンケート回答から

- 優しく言葉かけしてもらい安心します。
- 今まで受診した病院の中で一番話しかけやすく、質問しやすい。
- 足が痛そうにしていたらすぐ車いすを貸してくれ、トイレを探しているとすぐ車いすを押していただきすごく助かりました。
- 笑顔で接して頂いて感じがいいので、これからも来院しようと思えます。
- とても親切、優しいユーモアがある。

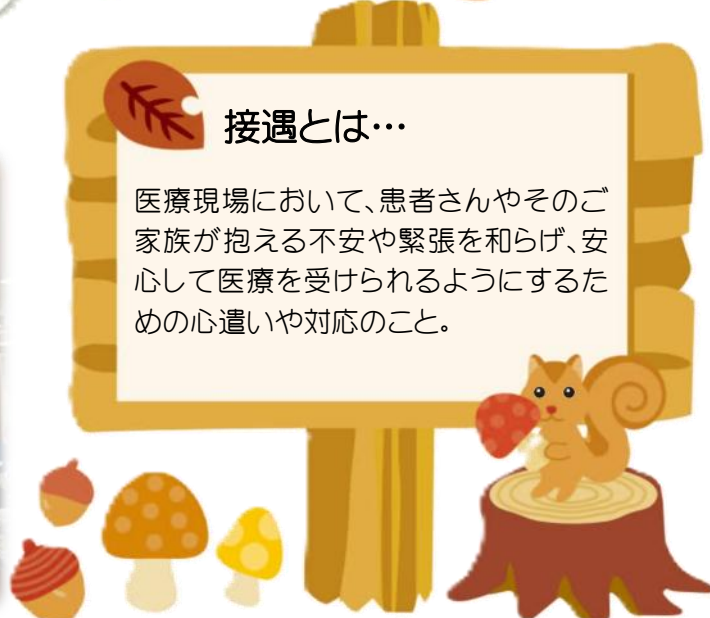


接遇については、発表部署のみならず、全職員が日常業務で意識している事です。全職員が発表に注目して、聞き入っていた様子が印象的でした。職員は、改めて自身の接遇について振り返る機会となりました。



接遇とは…

医療現場において、患者さんやそのご家族が抱える不安や緊張を和らげ、安心して医療を受けられるようにするための心遣いや対応のこと。



●外来診察担当医師のご案内●

		月	火	水	木	金
午前	受付時間 (8:30~11:00)	黒木一	岡田	白澤	黒木一	岡田
		園田	白澤	園田	信藤	黒木綾
	診療時間 (9:00~12:00)	岡田	石谷	信藤	石谷	原田
		信藤	原田	黒木綾	香月	香月
午後	受付時間 (13:30~16:30)	黒木一	岡田	岡田	平田	黒木一
		岸川	白澤	園田	園田	信藤
	診療時間 (14:00~17:30)	石谷	石谷	香月	黒木綾	原田
		黒木綾			香月	香月

※休診日 土曜日 日曜日 祝日 予約受付時間 月曜～金曜日 8:30～17:30 (休診日を除く)

※当院は予約制のため、事前予約をお願いします。

予約専用フリーダイヤル 0120-23-0318

↓ Next preview ↓



公式LINE



公式Instagram



@SHION_HOSPITAL2011



Instagramにて動画配信予定 /
Tik Tokでも配信するかも??? すごく期待!!

福岡志恩病院 X

◆ 編集後記 ◆



入院中の患者様は、食事が唯一の楽しみと言ってくれる事があります。『食』に対する考えは様々です。病院食を通してより『食』に興味関心を持っていただきたいと思っています。リハビリの為に、機能維持・改善の為に、適量をしっかり食べて、退院後もより健康にお過ごしいただきたい!...と想いが伝わっていますように。

(管理栄養士 岡 美沙枝)

医療法人 オアシス

福岡志恩病院

S H I O N H O S P I T A L

〒838-0101 福岡県小郡市美鈴が丘1丁目5番3

予約専用 0120-23-0318

代表電話 0942-23-0300

FAX番号 0942-23-0301

こちらのQRコードより
HPへ飛べます▼▼▼

